

名古屋大学 大学院教育発達科学研究科 附属高大接続研究センター

公開講演会のご案内

謹啓 清秋の候、貴校、貴機関におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、名古屋大学大学院教育発達科学研究科では、十数年の長きにわたって運営して参りました附属中等教育研究センターを改組し、その業務を拡大して、新たに附属高大接続研究センターを発足させました。

この高大接続研究センターによる公開講演会が下記のように開催されます。つきましてはそのご案内を同封させていただきますので、この問題にご関心をお持ちの方々にご案内頂ければ幸いです。

末筆ながら、貴校、貴機関のますますのご発展をお祈り申し上げます。

敬具

2015.10.26

名古屋大学大学院教育発達科学研究科
附属高大接続研究センター長
大谷 尚

記

名 称：附属高大接続研究センター 公開講演会

タイトル：「高大を接続する -米国と日本の高大接続の現在と未来-

日 時：2015年12月5日(土)13:00-17:00(開場12:40)

会 場：名古屋大学 ES ホール(名古屋大学東山キャンパス内、ES 総合館 1F)

講 者：アンドリュー・エフラット氏 (元マサチューセッツ州立大学副総長)

ノーラ・スティーブン氏 (元マサチューセッツ州立大学教育学部 Senior Lecturer)

佐々木隆生氏 (北星学園大学教授、北海道大学名誉教授)

講演は通訳付きで行われます。また同封のご案内は次の URL からも取得することが可能です。

<http://www.educa.nagoya-u.ac.jp/docs/2015/1023/chet2015.pdf>

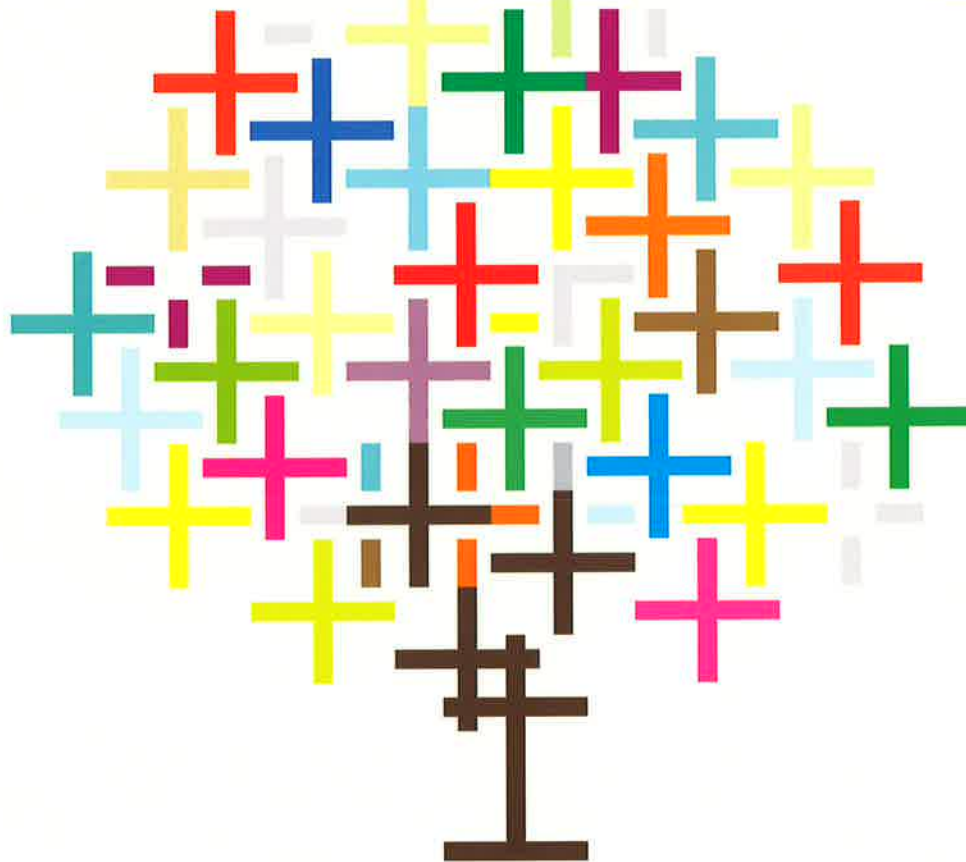
高大を接続する

— 米国と日本の高大接続の現在と未来 —

2015年12月5日(土) 13:00-17:00 (開場は12:40)

会場：名古屋大学 ESホール (名古屋大学東山キャンパス内、ES総合館1F)

次のキャンパス案内図の【C2④】 http://www.nagoya-u.ac.jp/upload_images/campus_map_jp.pdf



名古屋大学大学院教育発達科学研究科附属高大接続研究センターは、次のように公開講演会を開催します。今回はまず、ふだんなかなか知ることのできないアメリカの高大接続の現状や取り組みについて、アメリカからのお二人のゲストに、それぞれ大学からと中等教育・特別支援教育の立場からお話し頂きます。

また、日本の高大接続の問題と将来について、元文部科学省大学改革推進委託事業「高等学校段階の学力を客観的に把握・活用できる新たな仕組みに関する調査研究」代表で、『大学入試の終焉—高大接続テストによる再生—』(2012)の著者でもあり、この問題に関して最も詳しい佐々木隆生先生からお話をうかがいます。

高等学校関係者、大学関係者、その他多様な方々を対象に企画致しましたので、ぜひご参加下さいますようお願い致します。

開会のことば

阿部英之助 [高大接続研究センター特任講師]

副総長挨拶

木保元一 [名古屋大学副総長 (入試・組織改革・学生支援・図書館担当)]

高大非接続の現状—序にかえて—

大谷 尚 [名古屋大学大学院教育発達科学研究科教授、附属高大接続研究センター長]

米国における高大接続の現状と課題 ※通訳付き

『—米国の大学の立場から—』

アンドリュー・エフラット氏 [元マサチューセッツ州立大学副総長]

『—米国の中等教育・特別支援教育の立場から—』

ノーラ・スティーブン氏 [元マサチューセッツ州立大学教育学部 Senior Lecturer]

『日本の高大接続の現状と将来』

佐々木隆生氏 [北星学園大学教授、北海道大学名誉教授]

閉会のことば

松田武雄 [名古屋大学大学院教育発達科学研究科教授、前研究科長]